

自動車整備・スポーツメカニクス科			2025年		授業計画	
時 期	前期	単元	実習	教科名	研究授業1	
科 目	実習	教科書等 持参品			発行日	2024.03.26
時限数	27時限				教科担当	草葉
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員、板金塗装業を行っている外部講師により、指導およびサポートを行なう。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・自動車についての知識、整備技術、スポーツメカニクス科で学んだことを活かして、レース車両のメンテナンス、製作物の作成をおこなう。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を実践し、自信を得る。 ・エアブラシ、軽板金の技術を学ぶ。 ・車検整備に関する検査手続き、整備知識を学ぶ。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
・本校にて学び得た知識、整備技術を研究という形に表示す。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、レース車両のメンテナンス、学生所有車両等のメンテナンスを行なう。 ・エアブラシ、軽板金が一定レベル以上で出来る。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、登録車の車検整備を行い、持ち込み車検にて継続検査に合格する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・担当教員を含む2名以上の教員に対し、研究発表を行い、その評価を行なう。						
5. 準備学習						
自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。						

自動車整備・スポーツメカニクス科			2025年		授業計画	
時 期	前期	単元	実習	教科名	研究授業2	
科 目	実習	教科書等 持参品			発行日	2024.03.26
時限数	34時限				教科担当	草葉
1. 実務経験のある教員による授業科目						
				該当	非該当	
自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員、板金塗装業を行っている外部講師により、指導およびサポートを行なう。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・自動車についての知識、整備技術、スポーツメカニクス科で学んだことを活かして、レース車両のメンテナンス、製作物の作成をおこなう。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を実践し、自信を得る。 ・エアブラシ、軽板金の技術を学ぶ。 ・車検整備に関する検査手続き、整備知識を学ぶ。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
・本校にて学び得た知識、整備技術を研究という形に表示す。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、レース車両のメンテナンス、学生所有車両等のメンテナンスを行なう。 ・エアブラシ、軽板金が一定レベル以上で出来る。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、登録車の車検整備を行い、持ち込み車検にて継続検査に合格する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・担当教員を含む2名以上の教員に対し、研究発表を行い、その評価を行なう。						
5. 準備学習						
自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。						

自動車整備・スポーツメカニクス科			2025年		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	研究授業3	
科 目	実習	教科書等 持参品			発行日	2024.03.26
時限数	80時限				教科担当	草葉
1. 実務経験のある教員による授業科目						
				該当	非該当	
自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員、板金塗装業を行っている外部講師により、指導およびサポートを行なう。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・自動車についての知識、整備技術、スポーツメカニクス科で学んだことを活かして、レース車両のメンテナンス、製作物の作成をおこなう。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を実践し、自信を得る。 ・エアブラシ、軽板金の技術を学ぶ。 ・車検整備に関する検査手続き、整備知識を学ぶ。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
・本校にて学び得た知識、整備技術を研究という形に表示す。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、レース車両のメンテナンス、学生所有車両等のメンテナンスを行なう。 ・エアブラシ、軽板金が一定レベル以上で出来る。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、登録車の車検整備を行い、持ち込み車検にて継続検査に合格する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・担当教員を含む2名以上の教員に対し、研究発表を行い、その評価を行なう。						
5. 準備学習						
自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。						

自動車整備・スポーツメカニクス科			2025年		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	研究授業4	
科 目	実習	教科書等 持参品			発行日	2024.03.26
時限数	80時限				教科担当	草葉
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備全般および耐久レースの経験がある教員、板金塗装業を行っている外部講師により、指導およびサポートを行なう。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・自動車についての知識、整備技術、スポーツメカニクス科で学んだことを活かして、レース車両のメンテナンス、製作物の作成をおこなう。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を実践し、自信を得る。 ・エアブラシ、軽板金の技術を学ぶ。 ・車検整備に関する検査手続き、整備知識を学ぶ。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
・本校にて学び得た知識、整備技術を研究という形に表示す。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、レース車両のメンテナンス、学生所有車両等のメンテナンスを行なう。 ・エアブラシ、軽板金が一定レベル以上で出来る。 ・本校にて学び得た知識、整備技術を活かして、登録車の車検整備を行い、持ち込み車検にて継続検査に合格する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・担当教員を含む2名以上の教員に対し、研究発表を行い、その評価を行なう。						
5. 準備学習						
自己の研究課題をどのようなものにするか、予め検討しておく。						

